

高潮・高波のメカニズムを解明し、 越波・浸水被害の軽減に貢献する

【対策】117 港湾における研究開発に関する対策

対策概要：国土強靱化に直結する研究開発を行うための体制を構築し、具体的な技術基準類や港湾整備に反映する。
府省庁名：国土交通省

【事例】港湾施設の設計法構築に関する研究開発

- 実施主体：(国研)海上・港湾・航空技術研究所
港湾空港技術研究所
- 実施場所：神奈川県横須賀市
- 事業概要：高潮・高波による港湾施設の越波・浸水メカニズムの解明等を通じ、令和7年度中に研究結果の技術基準等への反映を行い、港湾施設における将来の外力強大化も考慮した設計法の高度化を図る。
- 事業費：約3.26億円
(うち5か年加速化対策(加速化・深化分)約3.26億円)
- 効果：改良した大型平面水槽を活用した実験成果を通じ、施設整備等により、大雨や台風等の災害時における越波・浸水被害の軽減に貢献する。

【高潮・高波による港湾被害の特徴】



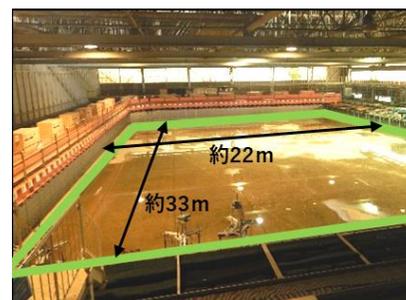
越波による護岸の倒壊



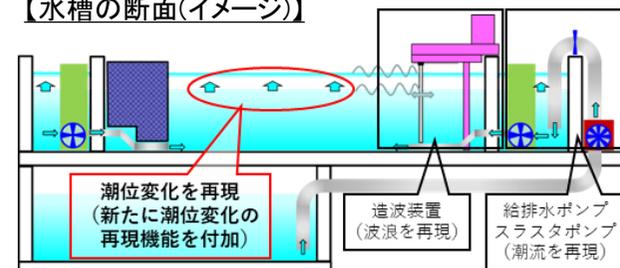
浸水による蔵置コンテナの流出

【大型平面水槽の改良】

- ・ 台風発生時の潮位変化(高潮・高波)の再現機能を付加、外力強大化に伴う港湾施設への越波・浸水メカニズムの解明等に貢献



【水槽の断面(イメージ)】



【改良により再現可能となる現象】

